

平成26年度(27年3月期) 第2四半期連結決算概要

平成26年10月30日
東京瓦斯株式会社

1.平成26年度 第2四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

増収増益：増収は5期連続、増益（当期純利益ベース）は3期連続。

ガス販売量	+519百万m ³	:鹿島地区を中心とする工業用（主に発電用）需要増
売上高	+975億円	:ガス販売量の増加及び原料費調整により都市ガス売上は732億円増 :電力・LNG販売等のその他エネルギー売上高279億円増
営業費用	+915億円	:ガス原材料費が数量増及び円安影響等により729億円増(当期4,822←前期4,093) :電力・LNG販売等のその他エネルギーに関わる費用が増
営業外損益	+16億円	:為替差損益+41億円(当期0←前期△41)、専用設備料収入△4億円(当期0←前期4) :持分法による投資利益△7億円(当期15←前期22)
特別損益	+118億円	:（当期）固定資産売却益54億円、投資有価証券売却益48億円 :（前期）減損損失△20億円
配当金		:中間配当金は、1株当たり5.0円といたします（年間予定10円）

<26年9月末現在連結会社数：連結子会社67社、持分法適用関連会社6社>

(単位:億円)

決算実績表	26年度2Q	25年度2Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	7,192	6,673	519	7.8
売上高	10,310	9,335	975	10.4
営業費用	9,564	8,649	915	10.6
営業利益	745	685	60	8.9
経常利益	726	649	77	11.8
当期純利益	570	427	143	33.3

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)(※)
26年度2Q	103.01	109.50	21.9
25年度2Q	98.86	107.69	22.3
増減	4.15	1.81	△0.4

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間（前月の検針日から当月の検針日まで）における気温を平均したもの。

(2)ガス販売量

		26年度2Q	25年度2Q	増減	%	
ガス販売量	お客さま件数	千件	11,168	11,025	143	1.3
	家庭用	百万m ³	1,284	1,250	34	2.7
		百万m ³	1,324	1,377	△53	△3.8
		百万m ³	3,626	3,123	503	16.1
	計	百万m ³	4,950	4,500	450	10.0
	他事業者向け供給	百万m ³	958	923	35	3.9
合計	百万m ³	7,192	6,673	519	7.8	

家庭用	:お客さま件数の増加および夏場の気温が低く推移した影響による給湯需要増
業務用	:夏場の気温が低く推移した影響および検針日程の関係でガスのご使用日数が前期と比較して少なかったことによる需要減
工業用	:鹿島地区を中心とする発電用需要の増
他事業者向け供給	:供給先事業者の需要増

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	26年度2Q	25年度2Q	増減	%	26年度2Q	25年度2Q	増減	%
都市ガス	7,378	6,646	732	11.0	667	659	8	1.3
器具及びガス工事	866	933	△67	△7.2	23	29	△6	△22.4
その他エネルギー	1,937	1,658	279	16.8	163	133	30	22.2
（電力）	832	666	166	24.8	120	99	21	20.7
不動産	130	145	△15	△10.2	31	31	0	△0.3
その他	961	836	125	14.9	60	40	20	49.9
（海外）	151	87	64	73.7	36	16	20	119.0
調整額	△964	△885	△79	-	△200	△209	9	-
連結	10,310	9,335	975	10.4	745	685	60	8.9

(注)セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは各セグメントに配賦していない全社費用。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	26年度2Q	25年度2Q	増減		26年度2Q	25年度2Q	増減
設備投資	864	1,219	△355	D/Eレシオ	0.76	0.71	0.05
営業キャッシュ・フロー	1,252	1,093	159	ROA	2.7	2.1	0.6
有利子負債	7,574	7,138	436	ROE	5.7	4.6	1.1

(注)有利子負債、D/Eレシオは26年3月末との比較

2.平成26年度 通期見通し <対前回(7.31)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回増収増益(対前期は増収減益)

ガス販売量	+61百万m ³	:夏期における発電需要の増による工業用、および他事業者向け供給の増加等、第2四半期までの実績差を反映。
売上高	+30億円	:電力+19億円(販売量増)、海外事業+18億円(経済フレーム見直し等)
営業費用	△90億円	:経済フレームの見直しに伴う都市ガス原材料費の減少(△107億円)等
営業利益	+120億円	:都市ガス事業+83億円、電力を含むその他エネルギー+34億円等 :前提となる経済フレームを変更(10月以降:為替レート105→110円/\$、原油価格110→100\$/bbl)

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	25年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,387	15,326	61	0.4	14,735	652	4.4
売上高	22,910	22,880	30	0.1	21,121	1,789	8.5
営業費用	21,460	21,550	△90	△0.4	19,460	2,000	10.3
営業利益	1,450	1,330	120	9.0	1,660	△210	△12.7
経常利益	1,370	1,260	110	8.7	1,596	△226	△14.2
当期純利益	1,030	970	60	6.2	1,084	△54	△5.0

(単位:億円)

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)	為替・原油変動影響感度(3Q以降)	売上高	原料	営業利益
26年度	106.51	104.75	16.9	円・ドルレートが¥1/\$円安	31	47	△16
25年度	100.17	110.00	17.0	原油価格JCCが\$1/bbl上昇	9	30	△21
増減	6.34	△5.25	△0.1				

(2)主要計数(通期見通し)

(単位:億円、%)

	26年度	25年度	増減		26年度	25年度	増減
設備投資	2,370	2,480	△110	D/Eレシオ	0.71	0.71	0.00
営業キャッシュ・フロー	2,450	2,488	△38	ROA	4.7	5.2	△0.5
有利子負債	7,420	7,138	282	ROE	10.0	11.2	△1.2